



**2022年3月期
決算補足説明資料**

**2022年5月10日
株式会社 丸順**

<2022年3月期 期末>

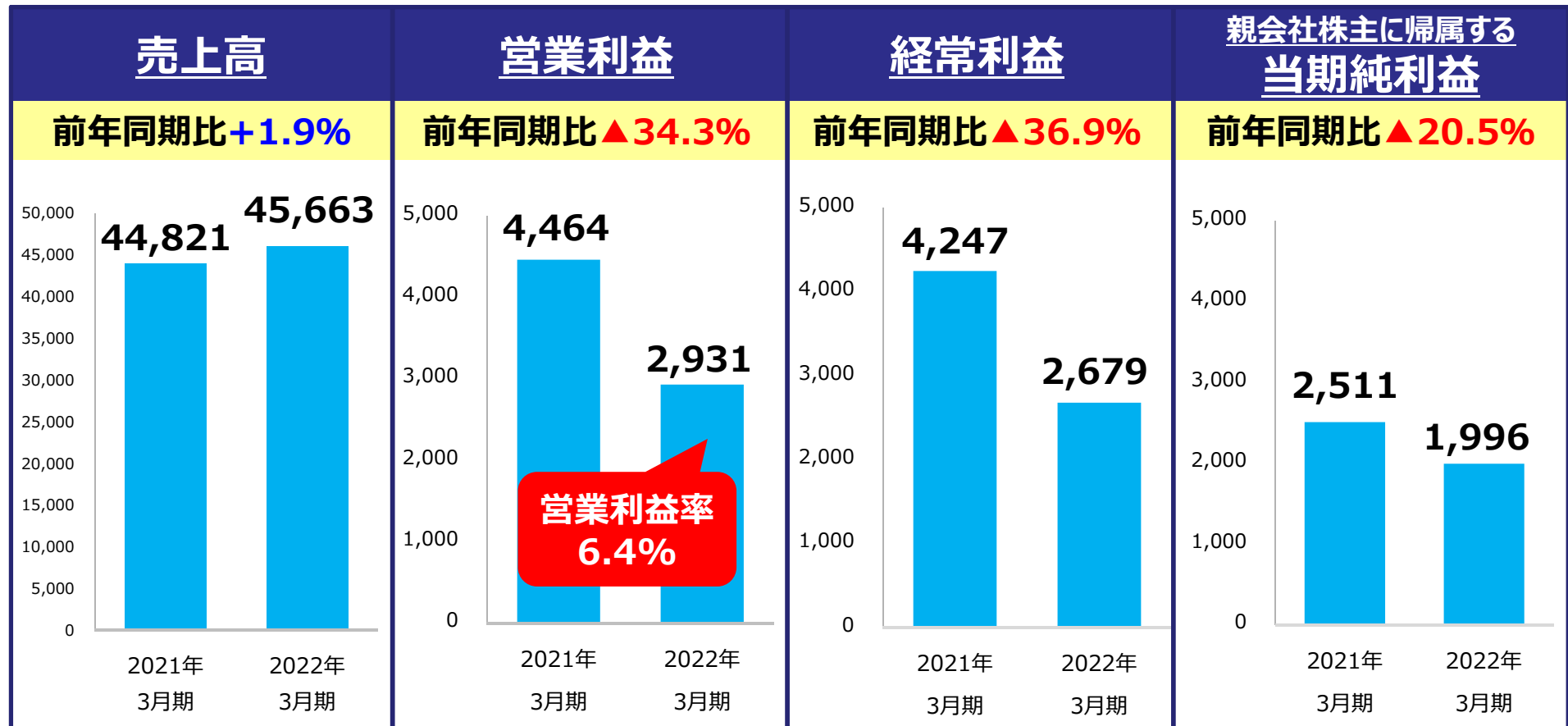
1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 連結キャッシュフローの状況
5. 設備投資額、減価償却費
6. 財務状況

<2023年3月期>

7. 連結業績予想
8. 増減要因
9. 配当について

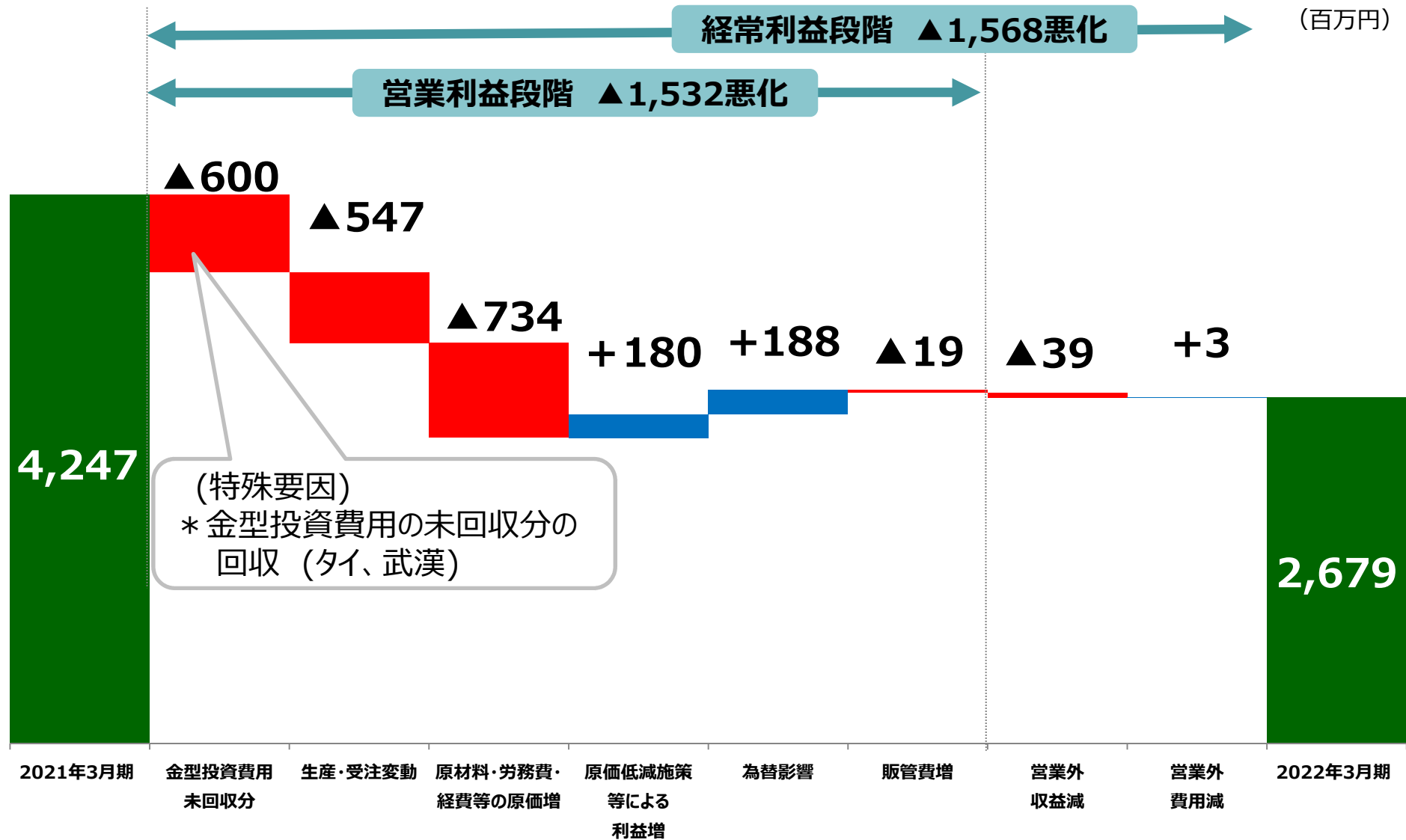
1. 連結損益状況

(百万円)



為替レート	2021年3月期 (円)	2022年3月期 (円)	増減 (円)	増減率 (%)
米ドル	106.17	112.86	+6.69	+6.3%
タイバーツ	3.42	3.43	+0.01	+0.3%
人民元	15.44	17.03	+1.59	+10.3%

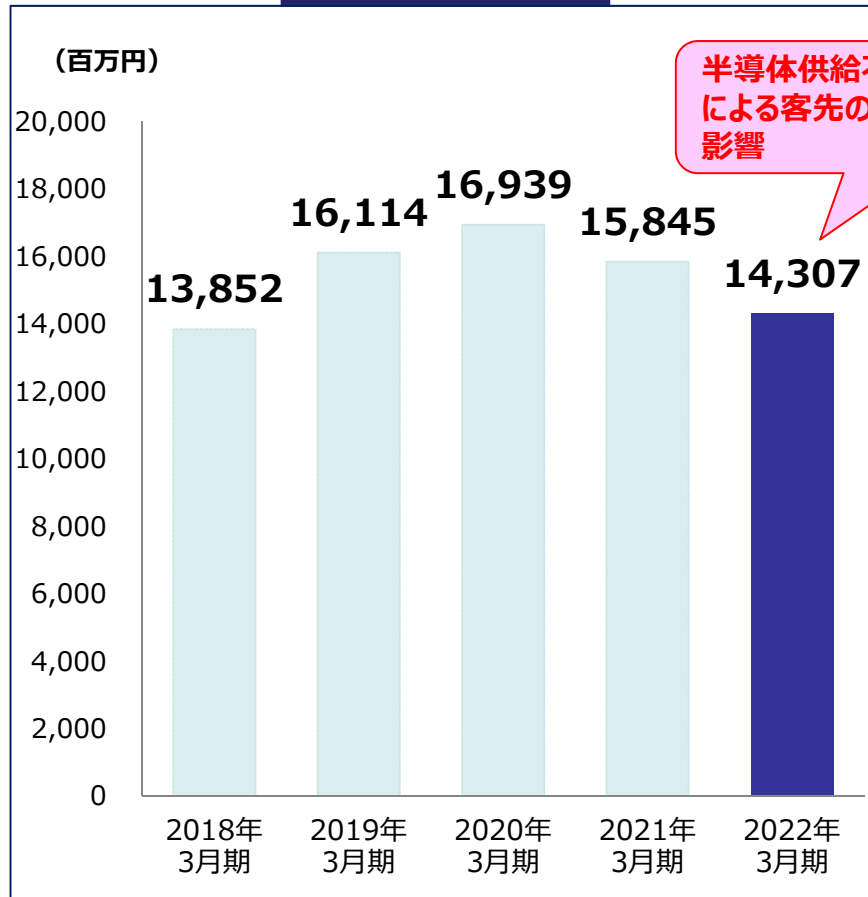
2. 増減要因



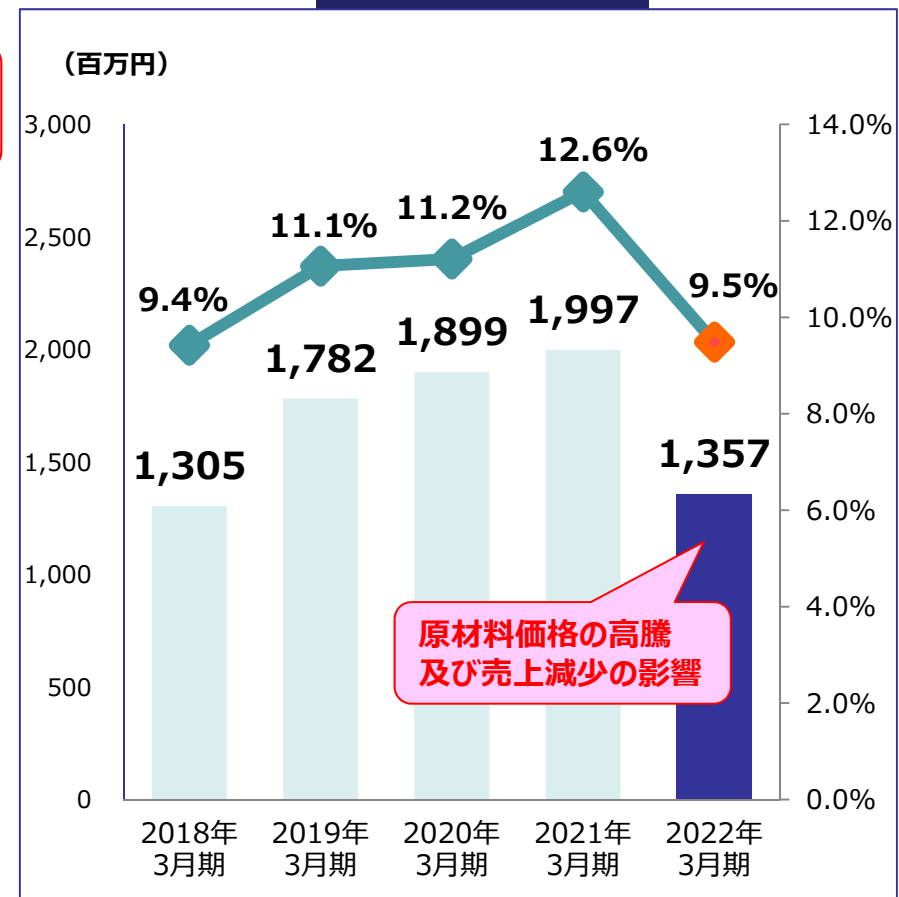
**部品・金型事業の生産・受注変動及び原材料価格高騰・客先生産変動に伴う
 労務費負担増等の原価高の要因により減益。**

3. セグメント業績(丸順)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

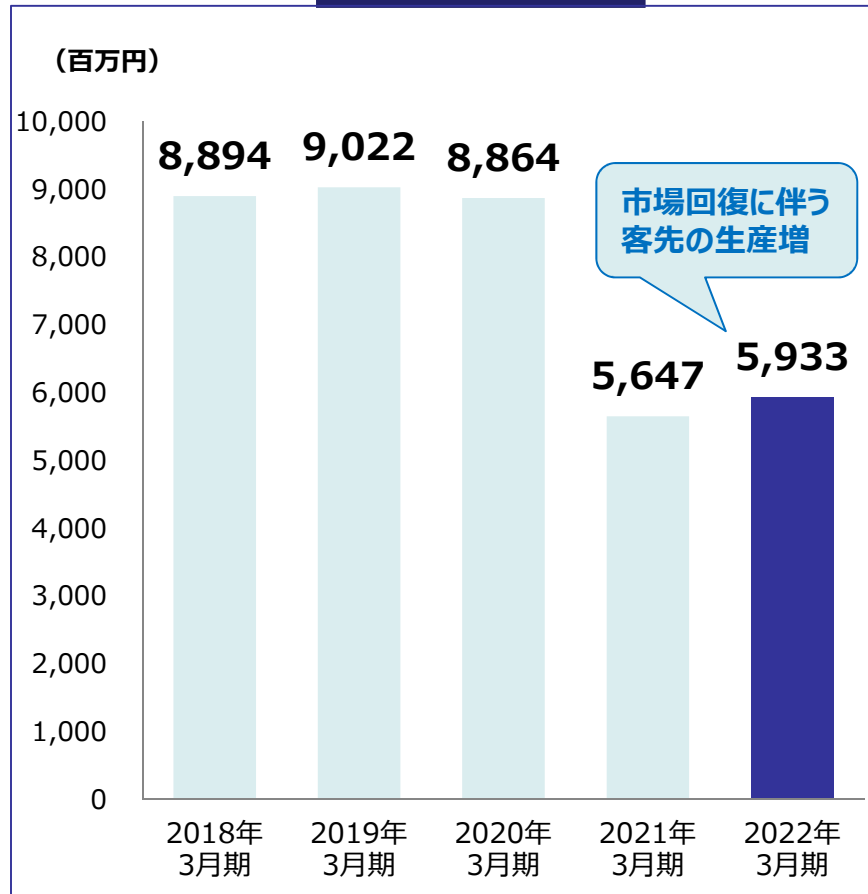
半導体供給不足による客先の減産影響及び金型設備等の販売減少等により、減収。

経常利益

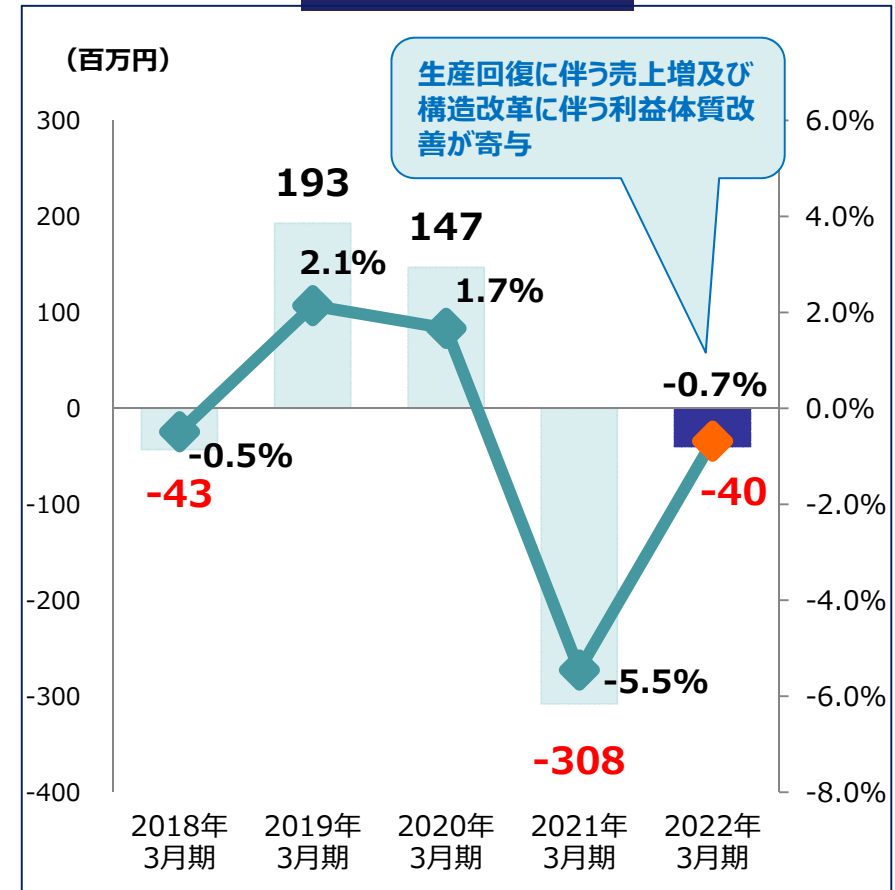
原材料価格高騰及び売上高減少の影響等により、減益。

3. セグメント業績(タイ)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

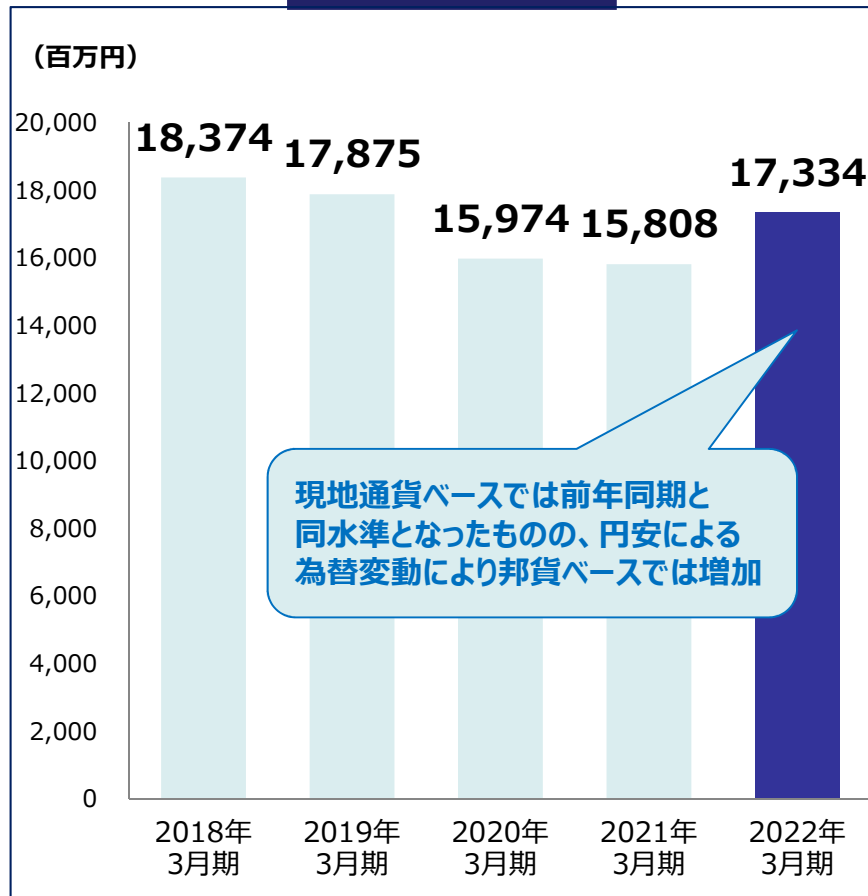
客先の国内・輸出向け自動車部品、汎用エンジン部品の生産増加等により、増収。

経常利益

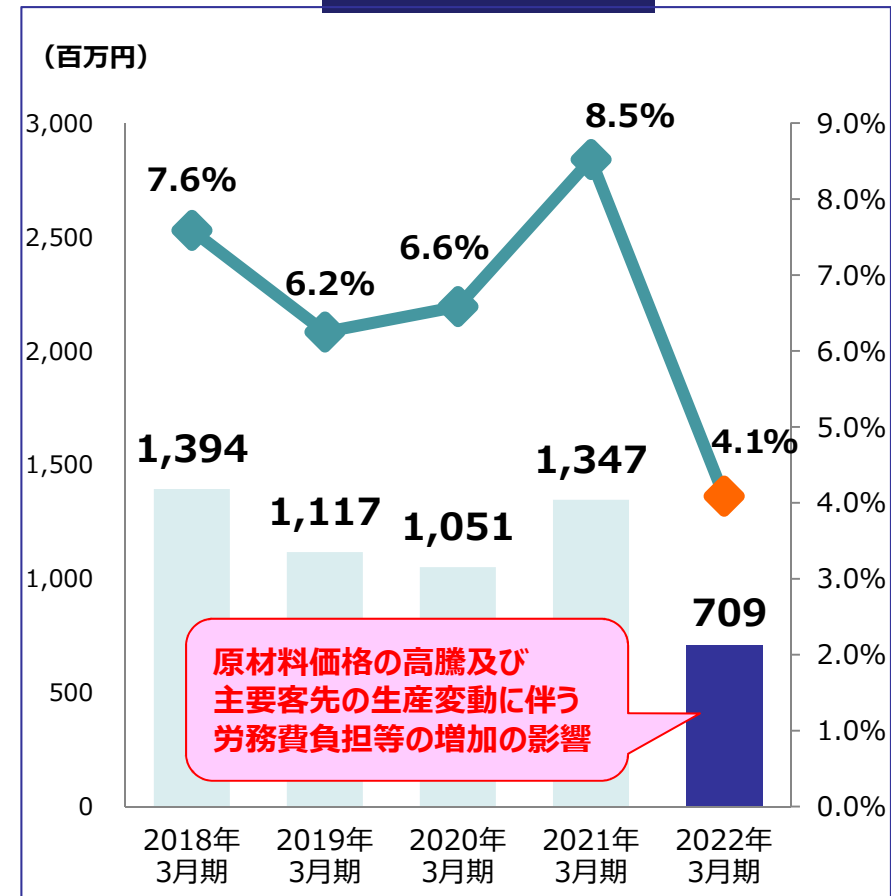
構造改革に伴う利益体質改善の推進等により、損失減少。営業利益段階では黒字化。

3. セグメント業績(広州)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

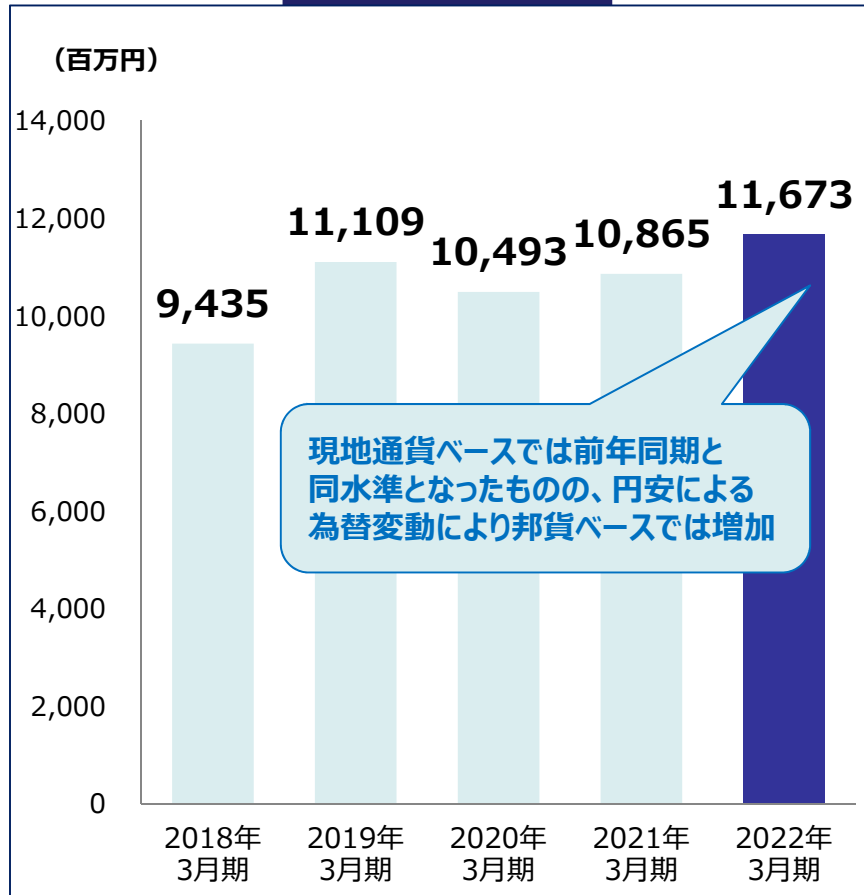
半導体供給不足による客先の減産影響により現地通貨ベースでは前期同水準となったが、円安の為替影響により邦貨ベースでは、増収。

経常利益

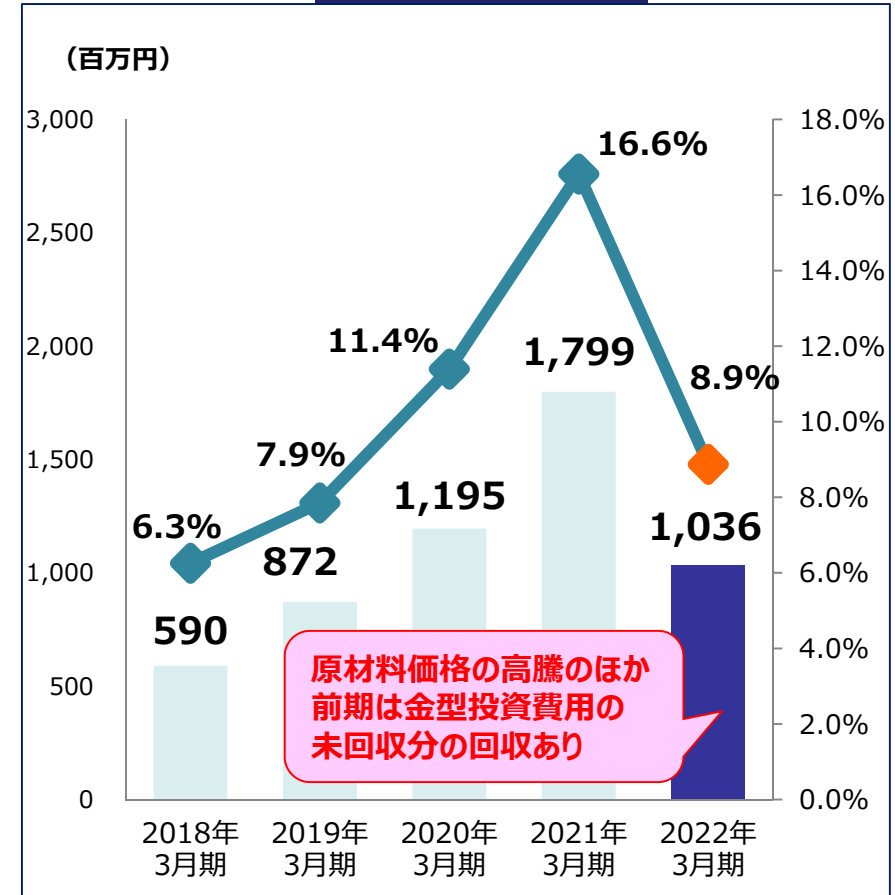
原材料価格高騰及び生産変動による労務費負担増加等の影響により、減益。

3. セグメント業績(武漢)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

半導体供給不足による客先の減産影響により現地通貨ベースでは前期同水準となったが、円安の為替影響により邦貨ベースでは、増収。

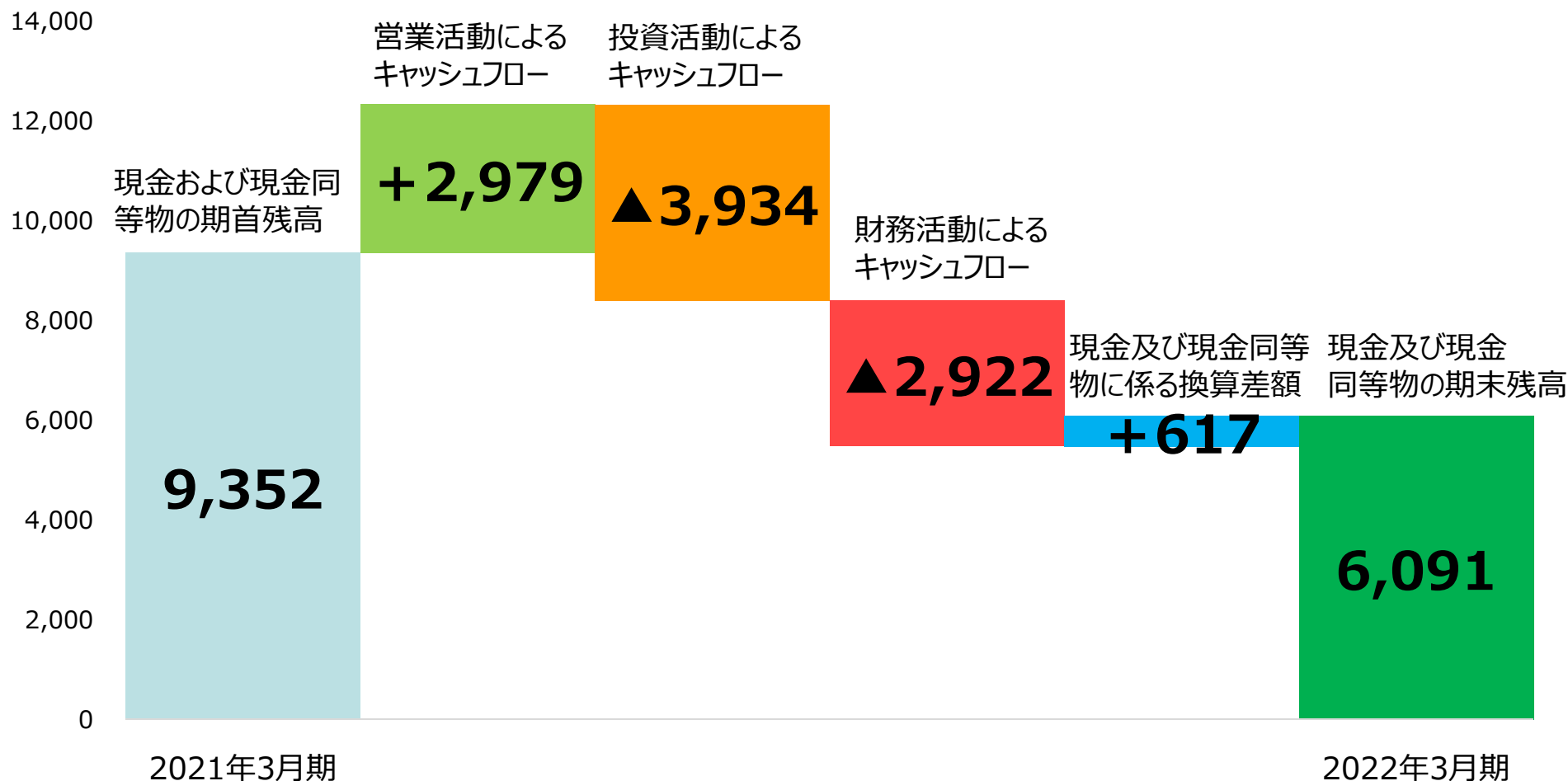
経常利益

原材料価格高騰及び生産変動による労務費負担増加等の影響、前期は金型投資費用の未回収分の回収があったことにより、減益。

4. 連結キャッシュフローの状況

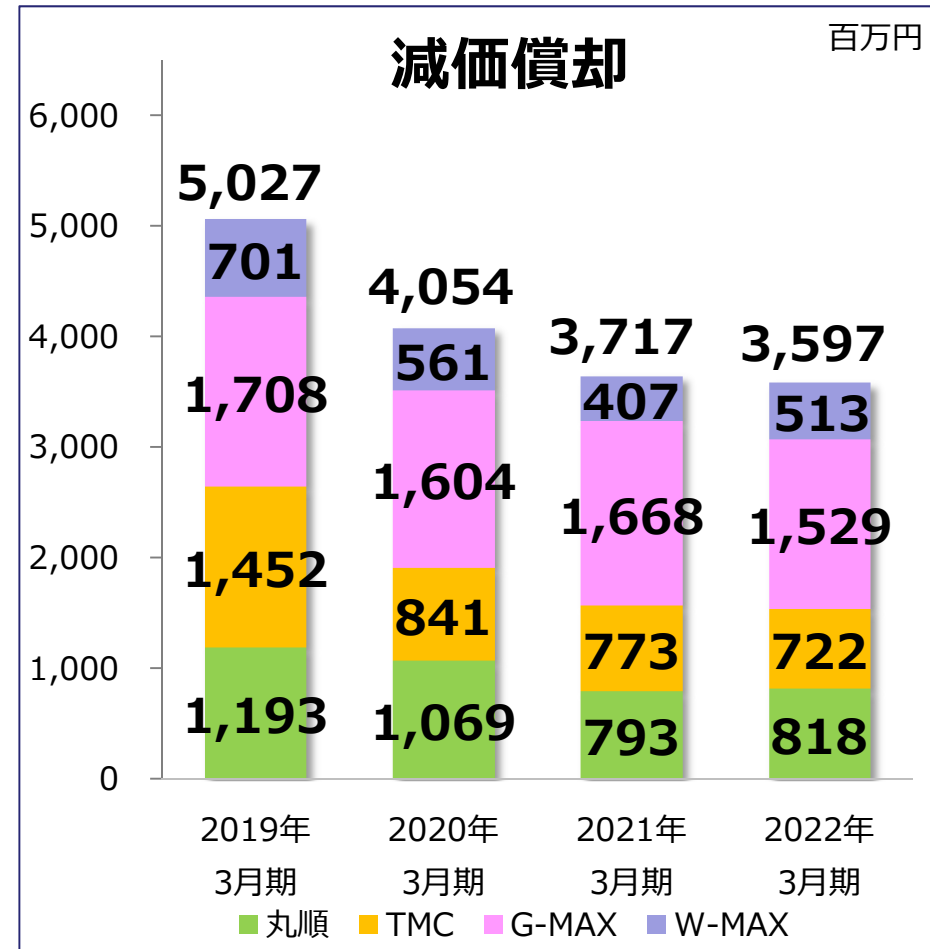
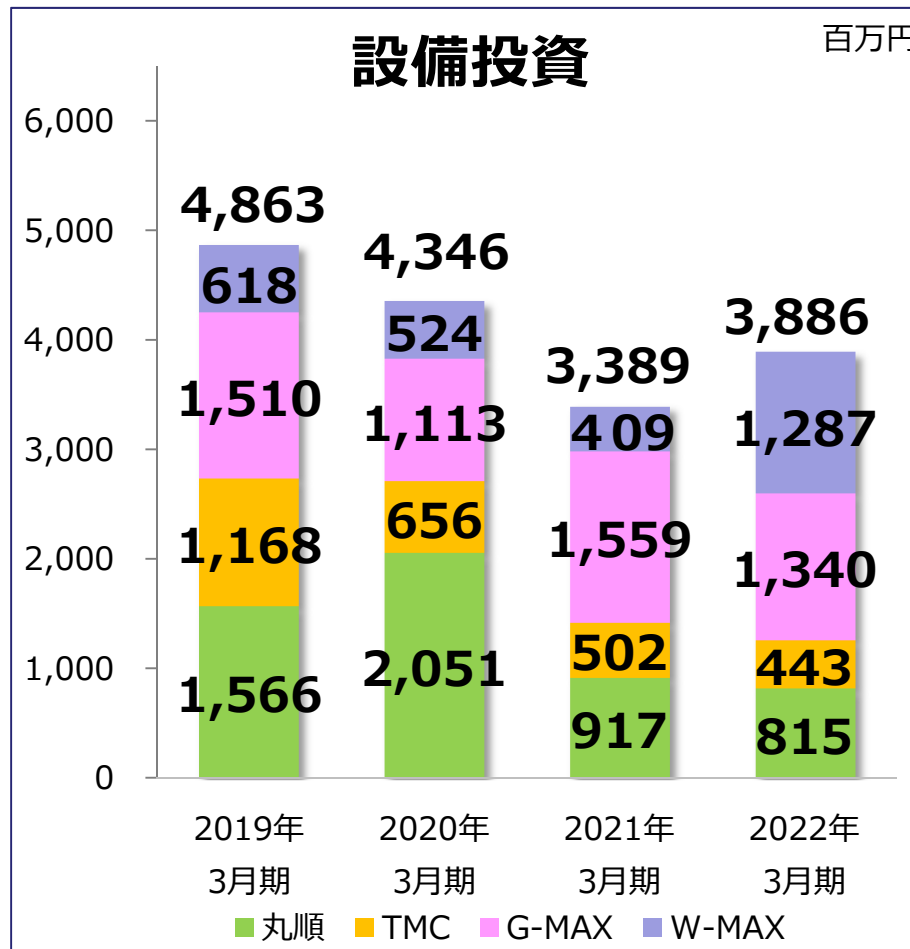
フリーキャッシュフローは▲9億円

(百万円)



生産設備・金型の仕掛り増加及び
前期から今期への投資の期ズレ等の要因により、フリーキャッシュフローはマイナス。

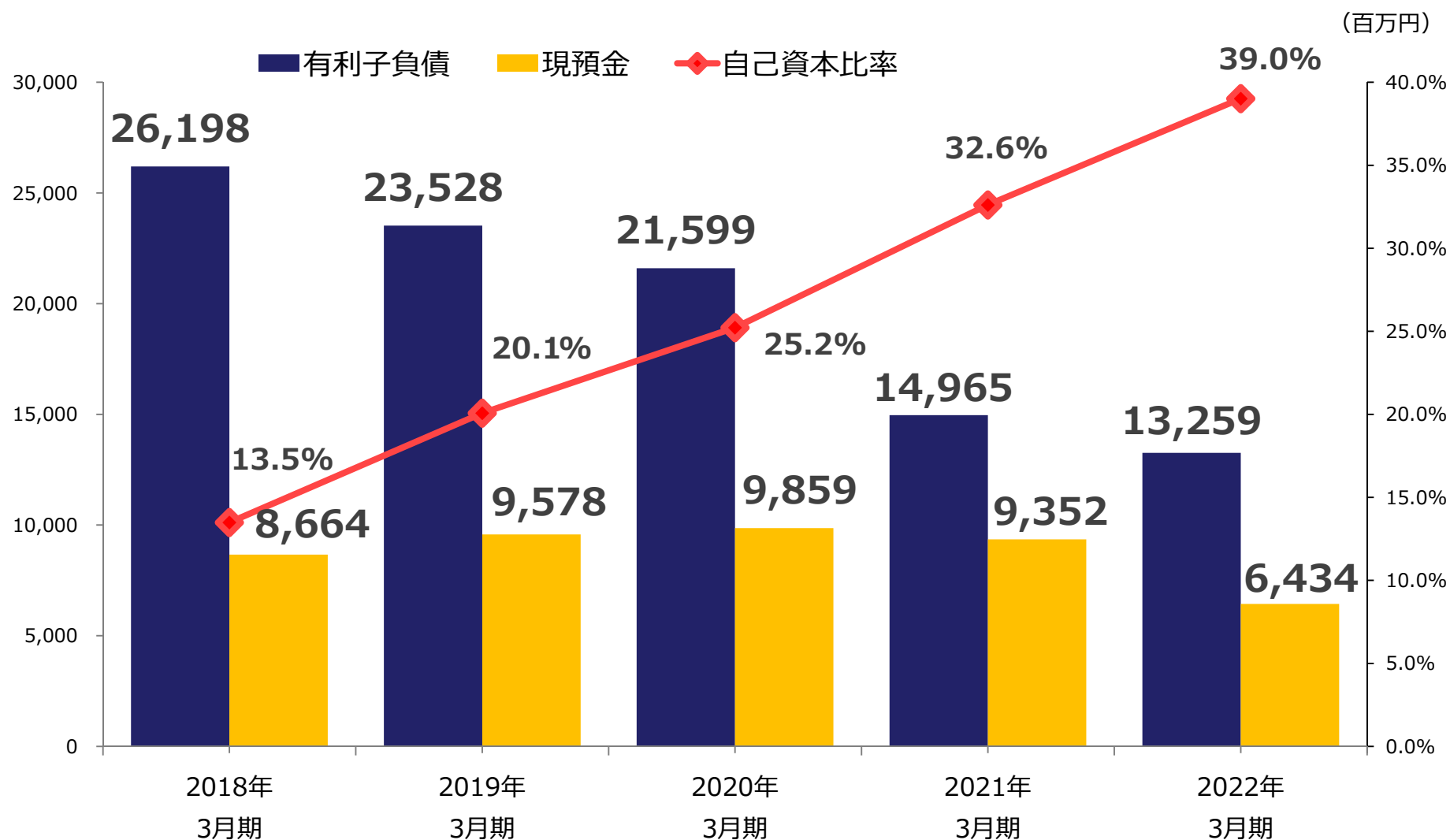
5. 設備投資額、減価償却費



2022年3月期の主な投資

- 【日本】 基幹システム導入、レーザーブランク設備、トランスファープレス機更新、新型車種金型
- 【タイ】 プレス機オーバーホール、新型車種金型
- 【広州】 溶接設備能力拡大、塗装前洗浄ライン設備、新型車種金型
- 【武漢】 溶接設備能力拡大、新型車種金型

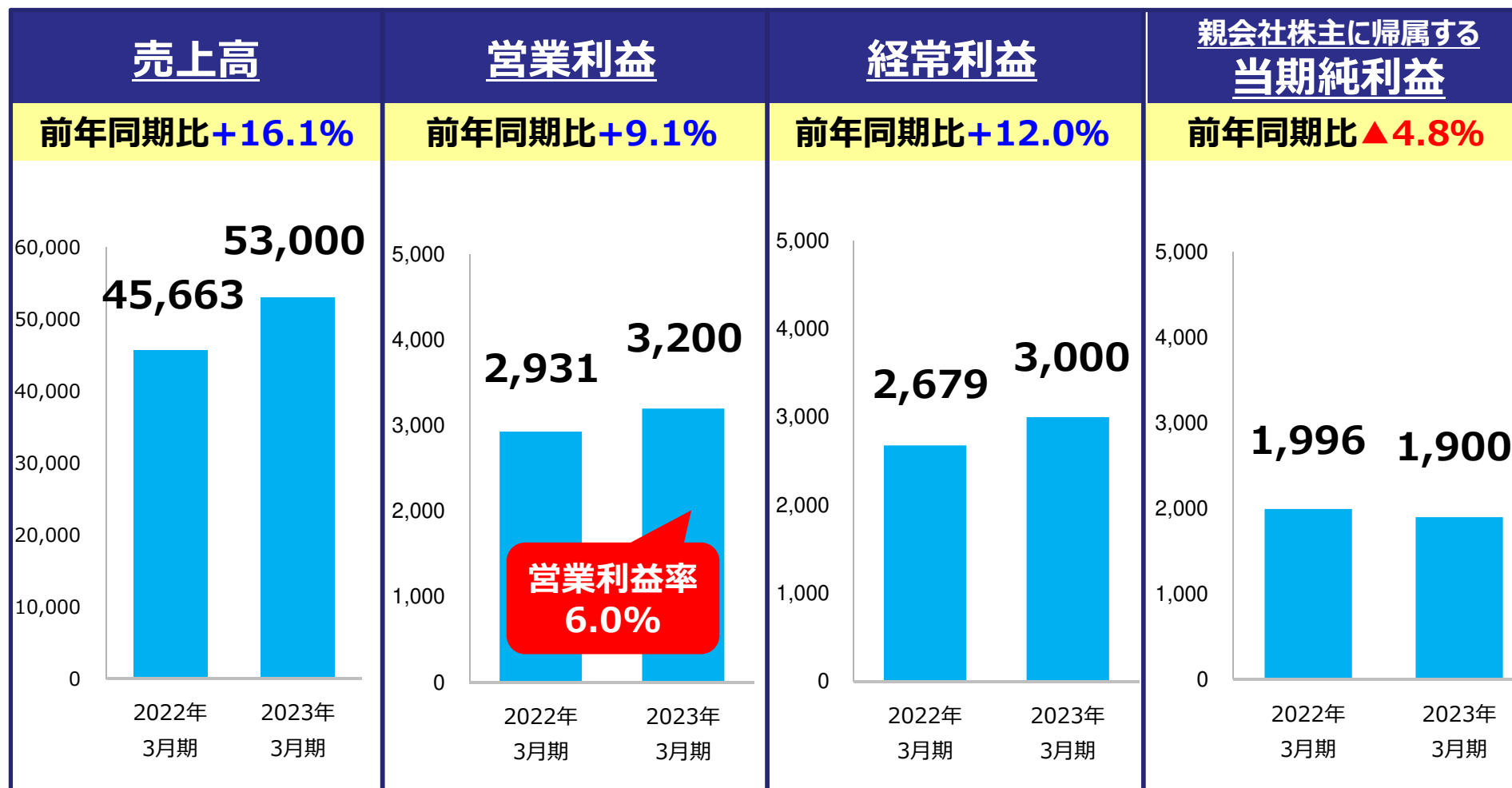
6. 財務状況



自己資本増強と有利子負債圧縮により、財務体質の改善は順調に進捗。

7. 連結業績予想

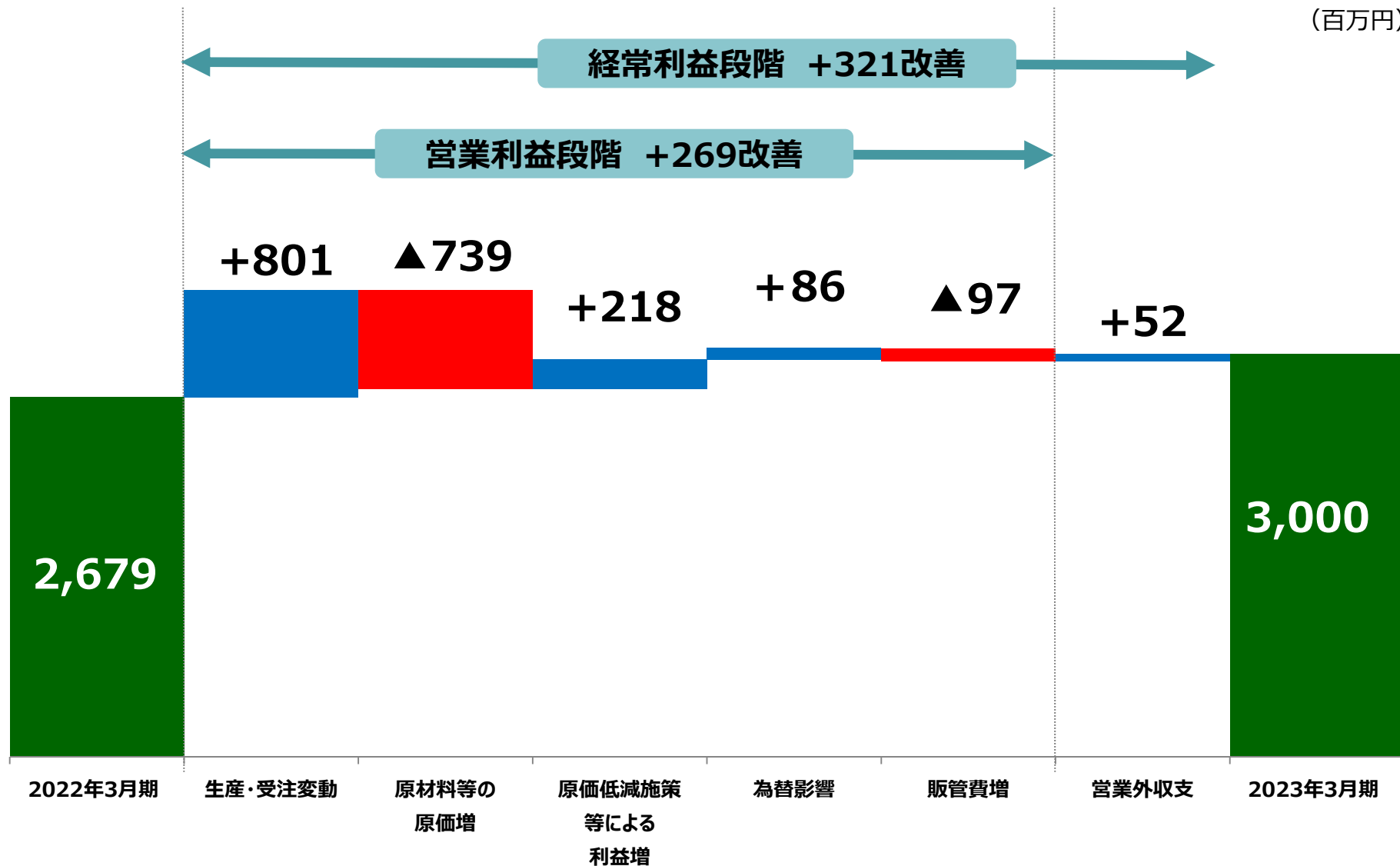
(百万円)



	2023年度3月期 (円)
為替レート	米ドル : 120.00、タイバーツ : 3.20、人民元 : 18.00

8. 増減要因

(百万円)



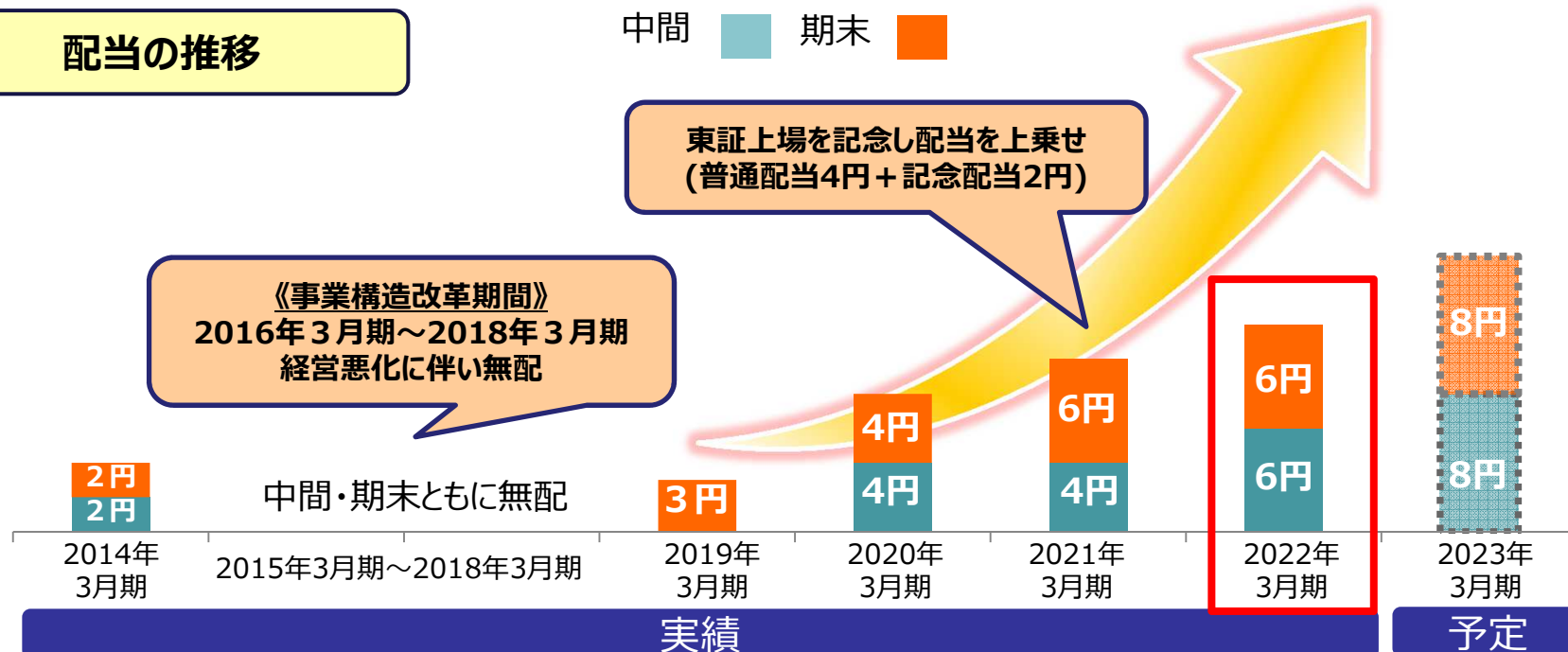
原材料価格高騰の影響が継続するが、年間での増産効果や合理化施策等により吸収する見通し。

9. 配当について

<配当方針>

現中期については連結自己資本比率40%を目標値とし、財務体質強化に注力。
現中期の配当については、世界的な自動車の生産停止等の甚大な変化がない限り、
少しずつでも**毎年増配していくことを基本的な考え方**としている。

配当の推移





当社ウェブサイトにてIR情報をご提供させていただいております



<https://www.marujun.co.jp/>

この資料は、株式会社丸順（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。